

赤れんがフェスタ in 舞鶴 2015

【日時】10月24日(土)・25日(日)10時～17時(25日は16時まで)
 【場所】◆赤れんがパーク ◆赤れんが博物館 ◆東体育館
 【問い合わせ先】実行委員会事務局(文化振興課内、☎66・1019)
 ※ホームページは右のコードから



赤れんが博物館
企画展

赤れんが博物館前広場
ミニれんがづくり

東体育館
アート&クラフトフェア
(作品の展示・販売、体験ワークショップ)

東体育館前広場(25日のみ)
クラシックカーフェスティバル・プレミエーティング

赤れんが2号棟西側通路
キッチンカーストリート

赤れんが4号棟
親子で楽しむカメラ教室、
護衛艦ペン画作品展、
海事機関グッズの販売

赤れんが5号棟
ミュージックステージ
(JAZZ、ヒップホップ
ダンスなど)

赤れんが3号棟
鉄道写真展、
土産品の販売

赤れんが2号棟
市内の高等教育機関による
展示・体験コーナー

赤れんが2号棟前広場
グルメコーナー(地元・近隣
グルメ、24日のみ旧軍港四市
グルメ交流会を実施)

海側芝生広場
地場産マルシェ、海鮮焼

駐車場側芝生広場
会場案内、時間旅行
博物館PRブース

旧軍港四市グルメ交流会
旧軍港市の舞鶴市、呉市、佐世保市、横須賀市が連携して実施している「旧軍港四市グルメ交流会」が今年も舞鶴で開催。各市のご当地グルメが味わえます。4年に1度の舞鶴開催です。家族そろってお越しください。
 【日時】10月24日(土)10時～17時
 【場所】赤れんが2号棟前広場
 【内容】旧軍港四市の海軍ゆかりのカレーや肉じゃがなどの海軍グルメを提供
 【問い合わせ先】観光商業課(☎66・1024)

10月はピンクリボン月間

あなたの大切な命を守るために。



だから必要!!

乳がん検診

嫌」といった声をよくお聞きしますが、早期に発見することが何よりも大切です。あなたの命を守るためにも、40歳を過ぎたら2年に1回、定期的に乳がん検診を受けてください。

▼詳しくは、保健センター(☎65・0065)へ。

今年も7月1日から市の乳がん検診が始まりました。女性が一生のうち乳がんにかかるリスクは12〜14人に1人といわれ、40歳代〜60歳代の女性に最も多いのですが、70歳、80歳になっても乳がんにならなくなるわけではありません。

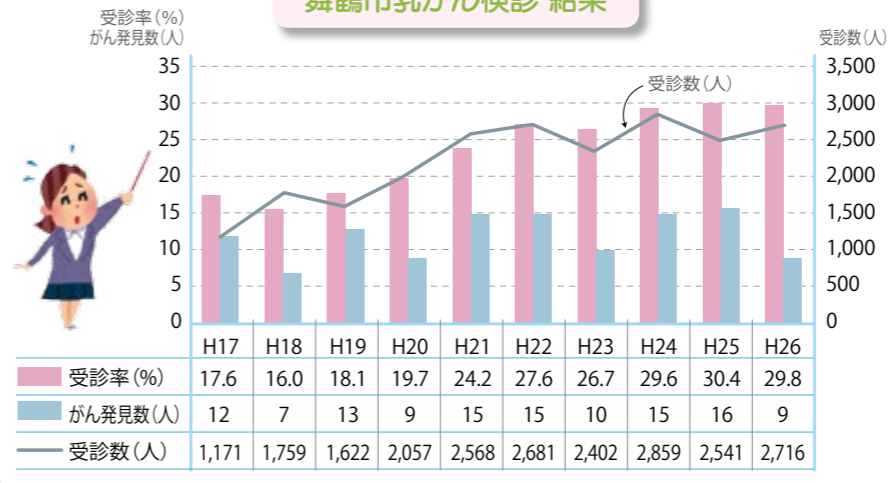
過去10年間に、延べ2万2,376人が市の乳がん検診を受けられ、121名の人に乳がんが発見されていますが、このうち「約3分の2」は、しこりが触れる以前の極めて早期の乳がんの段階(非浸潤がん)やしこりが2cm以下でわきの下のリンパ節に転移していない段階で発見されています。

乳がんにかかっても、非浸潤がんの段階で発見し治療をすれば、ほぼ100%治ると言われていますが、進行した状態で見つかるほど、その確率は下がっていきます。また、治療に要する期間や経

済的な負担も、非浸潤がんの場合、入院期間は7日間程度、その後の経過観察を含めても、治療費は数十万円(3割負担)ですが、乳がんが進行し、手術や抗がん剤治療・放射線治療・ホルモン療法などが必要になれば、治療費が5年間で数百万円(3割負担)に及ぶこともありえます。早期で発見すればするほど治る確率も高くなり、治療費も少なくて済むのです。

乳がん検診を受診する人は、ここ数年あまり増えておらず、受診率は3割程度とまだまだ少ない状況です。検診をお勧めしても、「がんが見つかったら怖い」「痛いから

舞鶴市乳がん検診結果



医師からのメッセージ



おおえ乳腺クリニック
 院長 大江信哉さん
 舞鶴医師会乳がん検診精度管理委員会委員長

2004年から舞鶴市で始まったマンモグラフィーによる乳がん検診は、今年で12年目になります。開始当初から質の高い乳がん検診を市民の皆さまに提供できるように努力してきました。

質の高い乳がん検診であるためには、なるべく多くの市民が受診して、本当に精密検査が必要な方が要精査になって、精密検査になった方の中から多くの早期乳がんが見つかること。

これが質の高い乳がん検診です。この10年間で、舞鶴市の乳がん検診は全国でもトップレベルの検診精度を達成し、市民の皆さまに本当に安心して受けていただける検診を提供できるようになりました。

ただし、まだまだ受診者数は少ないのが現状です。市民の皆さまには、ぜひ定期的に乳がん検診を受診していただき、自分の大切な乳房と命を守っていただきたいと思います。